

十の宛が来るに

胡蘭の地を去るに

と留まると言ふに

が難くはなるに

板屋の^打屋

河笑の地を去るに

其の

故

十の宛が

来る

石丸様

此

石丸膳一様

石丸

はま

新島列

十三十